

バイオマス取組事例概要

《社団法人地域資源循環技術センター理事長賞》

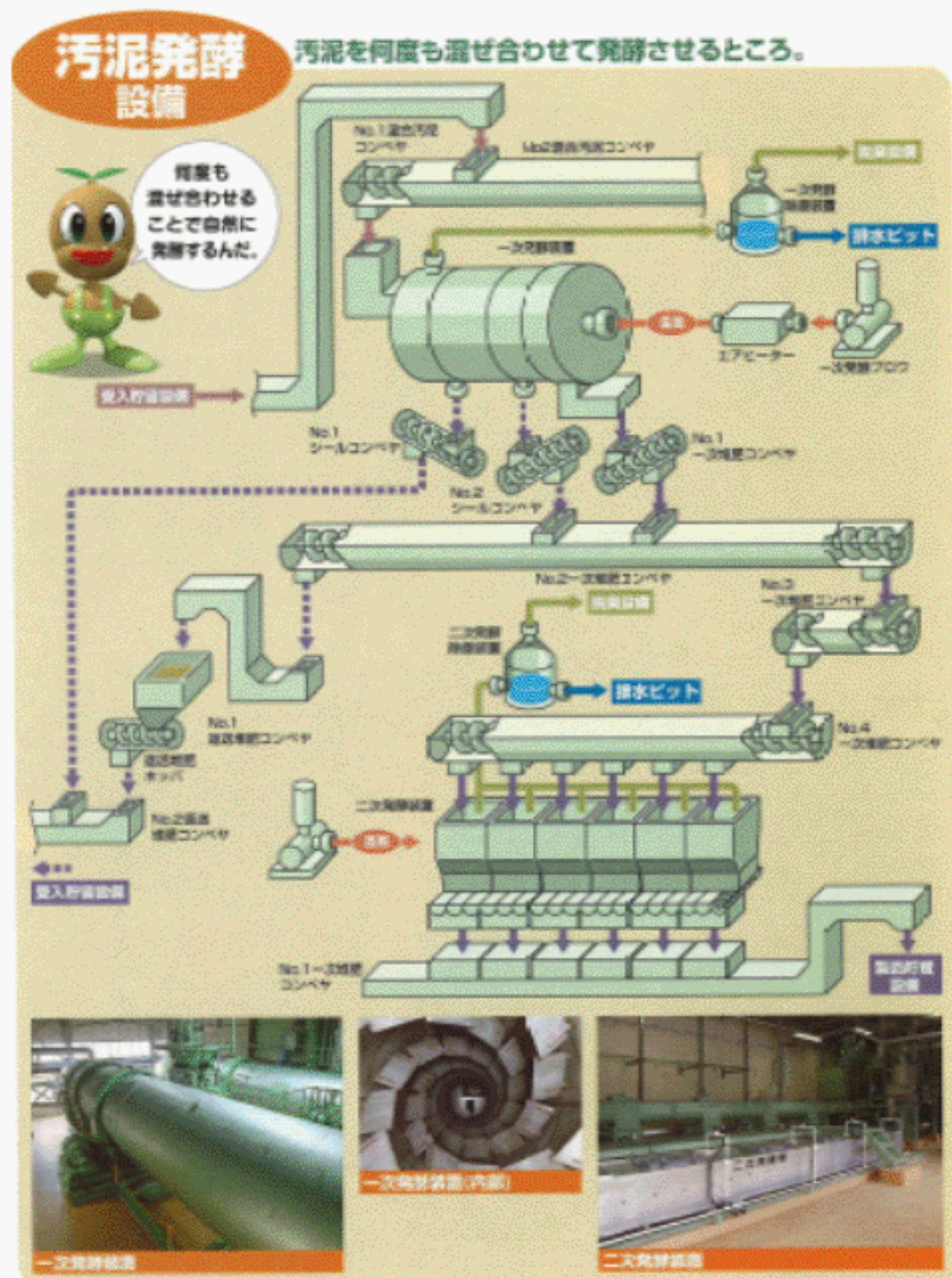
- ・ 応募主体 鳥取県鳥取市
- ・ 都道府県・市町村 鳥取県鳥取市
- ・ 取組分野 堆肥

取組概要

鳥取県東部地域の広域連携により、集落排水汚泥、し尿汚泥から堆肥を製造。

鳥取県東部地域においては、昭和58年以来集落排水処理施設を整備（現在は99箇所）しており、集落排水汚泥は増加する傾向にあるが、集落排水汚泥はし尿処理汚泥とともにし尿処理施設に搬入され焼却処分されていた。

し尿処理施設の老朽化を契機として、鳥取市は生活排水処理システムの総合的な検討・協議を行い、コンポストセンターを建設し、集落排水汚泥、し尿処理汚泥を堆肥としてリサイクル利用することとした。



製造した堆肥は一般公募により「いなばコンポスト」と命名され、農協を通じて販売されている。

また、鳥取市、鳥取県出先事務所、農協、鳥取県東部広域行政管理組合等の関係者は「コンポスト利用検討委員会」を組織し、同堆肥の利用拡大のための普及・啓発活動を実施している。



いなばコンポスト